

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ペット大集合—みんなでつくる猫の写真展事業
事業主体 (連絡先)	辰野美術館 上伊那郡辰野町樋口2407-1
事業区分	教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	485,817円 (うち支援金: 364,000円)

事業内容

近年デジタルカメラの普及により写真を楽しむ人口が増加し、写真展開催の要望が多い。また、猫を中心に伴侶動物(ペット)を飼養する人口が増えており、関心が高い。一方、少子高齢化時代を迎え、子育て世代からシニア世代まで、身近な生き物をとおして人と動物との共存、共生の理解や、動物愛護と多様性尊重が求められている。

そこで、住民が気軽にペットの写真や俳句、川柳を出品するとともに、展覧会のバックヤードの活動に住民が参加し、猫の写真展を開催した。

- ・展覧会「ワガハイの猫」10月14日～11月5日



【展覧会場①】

【目標・ねらい】

- ①写真に対する関心を広げる。
- ②伴侶動物をとおした共生理解。
- ③異分野からの多様性理解。
- ④住民参画による展覧会開催。

事業効果

伴侶動物の写真や俳句等をとおして出品者、鑑賞者ともに広い年代層の関心を集めた。会期中のワークショップや猫をモチーフにした文学作品の朗読会開催により、飼養猫や飼主のいない猫に対する認識を深め、共生や多様性への心理的な啓発につなげることができた。

※自己評価【B】

【理由】

- ・予想どおりの数の出品があり、俳句や川柳にも反応があった。
- ・作品制作や文学表現とも関連付けたイベントの参加者も定員に達し、好評だった。
- ・展示準備への住民参加が得られ、展示の無料公開が来場を促進。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・写真をとおして、地域の何気ない景観や伝統文化へ関心を広げる展覧会などを計画したい。
- ・少子高齢化の時代を映す写真展などを開催し、社会にコミットする表現活動を支援したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある